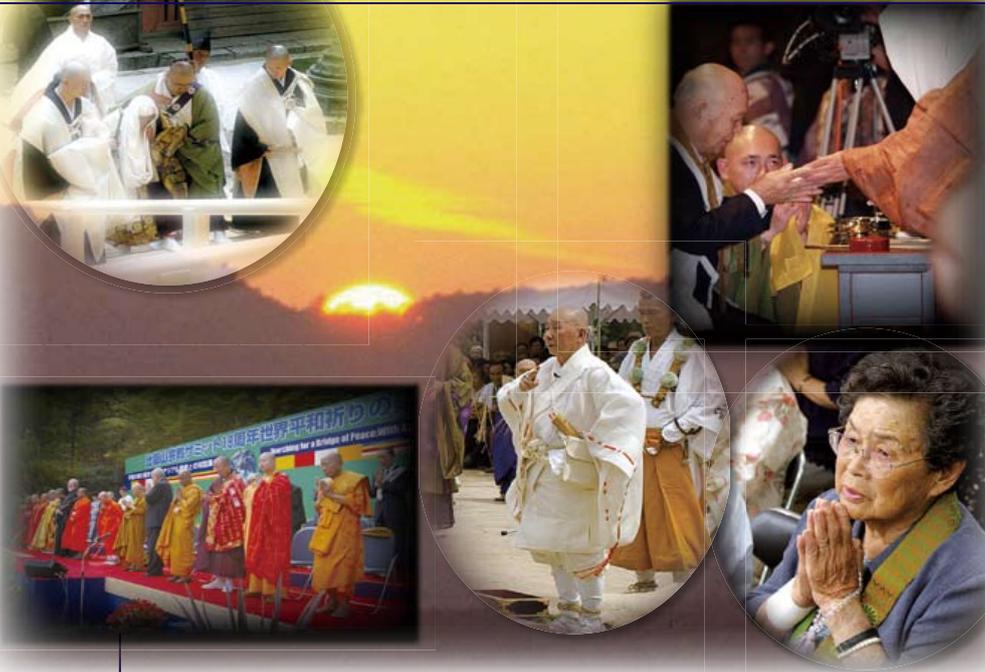


天台宗 開宗1200年の御祥当を迎える



伝教大師のみ教えを未来へ

The Tendai Journal

天台ジャーナル

広報天台

2006年(平成18年) 2月1日水曜日 (毎月1日発行)

1部 50円(消費税込・送料別)
発行所/天台宗出版室
発行人/出版室長 小林 相承
〒520-0113 大津市坂本4-4-2
天台宗務庁内
電話 077-579-0022 (代)
Eメール/T-Press@tendai.or.jp

総登山・総授戒
あなたの中の
仏に会いに

極微 ごくみ

雪に対するイメージはその人の住んでいる場所によって違う。「白い妖精」などと、ファンタジックな呼び名で愛でる人もあれば、「白い悪魔」と恐れる場合もある。この冬の日本海側を中心とする大雪被害は酷かった。雪の多い時期よりも一月も早く大雪が来た。連日の雪で除雪もままならず、押しつぶされた家屋。豪雪により多くの命が失われた。圧倒的な自然の前に無力感を感じるのみだ。初めて豪雪地の悲惨さを伝えた鈴木牧之の「北越雪譜」の時代から七十年も経つのに、雪の前には有効な手だてはまだ打ち出されていないのである。

一月二十六日に、天台宗は宗祖伝教大師が立教されてより千二百年の祥当を迎えました。ご勝縁に逢いた喜びをかみしめているところでありますが、この記念すべき年を、ただいたすに過ぎずはならないと存じます。守護国界章において宗祖大師は「一切の有情、皆悉成仏し、一として成ぜざるはなし」と述べられています。法華経からのお言葉ですが、すべてのものは仏となる、皆と共にその道を歩みたいというのが宗祖大師の願いでありました。現在の日本社会は非常に病んでおります。開宗千二百年にあたり私たちは、宗祖大師の示されたようにすべてのものが仏となるように精進し、み教えを守り、その心を大事にすることが、今の日本を再生させる道であります。宗祖大師の開かれた比叡山

祈り
天台宗は、千二百年という歴史を刻んだ。宗祖大師のみ心を現代に生かし、未来に伝えるため、新しい祈りと実践の日々が始まる。

法の灯

五戒を守る 相生 康文

三岐教区布教師会長 相生 康文

昨年天台宗開宗千二百年慶讃の総授戒が、全国の教区ごとに盛大に開催され、多くの檀信徒に深い感銘を与えました。私どもの教区でも三会場において開催することができました。どの会場も戒弟となられるお方はほとんどお年寄りのお方でありましたが、中に数人祖父父母に連れられて小学生、中学生と思しき童子の姿がありました。その姿を見たとき私はその家庭

を思い浮べました。無理やり連れてこられた訳ではありません。きっとその家では、夕餉の後の団らんで語り合う場が必ずあるのでしょう。お授戒のこともそこで話されたと思われませんでした。仏教徒には五戒として仏教徒として最低守らなければならぬ戒律があります。殺さない、盗まない、正しい男女関係を保つ、嘘をつかない、間違った考え方をしない、の五つです。これを更につきつめて言えば「悪い事をしない」「善い事をしよう」となります。叡南覚範先生は新聞に「戒をば名つけて孝となす、また制止と名づく」と言うお釈迦様のお言葉を引用して現代人の守るべき道を説かれました。今の日本の社会は全てに経済が優先し、精神が荒廃しています。この荒廃した精神を復興させ、犯罪の無い明るい平和な世の中にするためにも、もう一度「五戒」の精神を肝に銘じ、心の基盤である家庭をしっかりと築いていきたいものです。



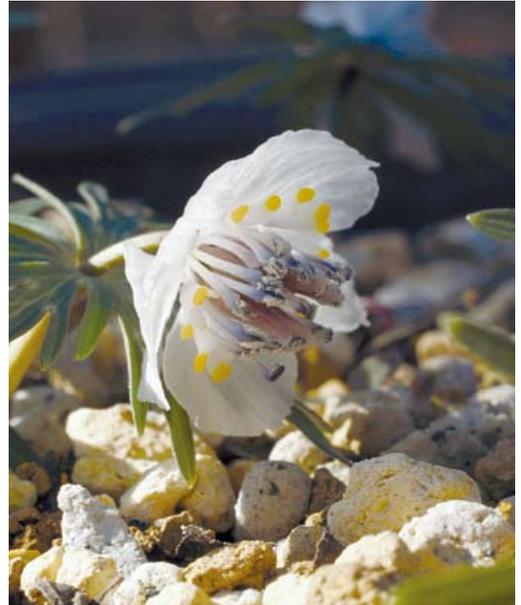
今出川行雲 延暦寺執行

延暦寺執行に今出川師

延暦寺執行に今出川師が就任されました。延暦寺執行は、宗祖大師の御遺教を継承し、天台宗の発展に努める重要な役割を担っています。今出川師は、天台宗の歴史を熟知し、信者の心を導く能力に優れた方です。延暦寺執行は、宗祖大師の御遺教を継承し、天台宗の発展に努める重要な役割を担っています。今出川師は、天台宗の歴史を熟知し、信者の心を導く能力に優れた方です。

総本山延暦寺では、森定慈芳前執行の辞任に伴う後任執行選挙を去る十二月十九日に、新執行に延暦寺一山大林院住職・今出川行雲師(大僧正)を選出した。任期は同月二十日より三年間。今出川新内局の副執行は次

- ▽管理部長 小森 秀恵師 (延暦寺一山・勝華寺住職・大僧正)
- ▽財務部長 佐々木 光澄師 (延暦寺一山・五智院住職・僧正)
- ▽法務部長 豊田 玄光師 (延暦寺一山・眞乘院住職・僧正)
- ▽参拝部長 山本 光賢師 (延暦寺一山・蓮華院住職・権僧正)
- ▽教化部長 横山 照泰師 (延暦寺一山・護心院住職・大僧都)
- ▽総務部長 水尾 寂芳師 (延暦寺一山・禪定院住職・大僧都)



花想風言

セツブンソウは、温暖な地方では節分の頃から咲き始める。それが名前の由来だ。

節分の二月三日、天台宗の寺々では夕方から般若心経を一年の日数分だけ唱える行事がある。無動寺谷の小僧だったころの私も、阿闍梨さんが焚く護摩壇わきの板の間に座って、心経を唱え続けた。それは毎年の行事だった。

が、東京・目黒の生家の寺では父亡き後、母親が「節分は星祭りだから心経は一千巻あげるものです」といって譲らない。参詣の信者さんと数を振り分け、住職が護摩を焚くわきで百回以上心経を読むが、大きな木魚を叩く役が私と決まっていた。日頃、朝夕、叩いていればともかく、年に一度、厳寒期に二時間以上木魚を打ち通すには腕の力が続かず、五十五歳の節分をめどに若い副住職に譲ってリタイアさせてもらっ

集団登校

鬼手仏心

白い息を吐きながら、小学生たちが集団登校してゆく。私たちの時代も、集団登校はあったが、それは高学年の者が、低学年の世話をするという意味合いが強かった。現在は、保護者がつきそい、危険から子どもの命を護る形である。どこに魔が潜んでいるかわからないからだ。

天台宗出版室長

小林 祖承

いざれかねない雰囲気だ。重苦しい時代だと思いが、これだけ弱者を狙った残酷な犯罪が多発すれば仕方もないのかも知れない。が、しかし我々の社会を覆いはじめている異常さは、犯罪者の個人的資質よりも、日本全体の根腐れを感じさせる。



重要文化財 紺紙金銀交書法華経八巻のうち巻第一

最澄と天台の国宝

東京国立博物館展示課長 島谷弘幸

東京展の魅力

(1)

表紙や見返し、本紙や写経の文字、さらに軸・紐・題箋などに装飾をほどこした写経を装飾経といいますが、奈良時代の遺品も確認され、早くから作られていたことが知られています。平安時代に入ると、いっそう華麗な装飾経が見られるようになりまし



国宝 法華経 開結共 十巻のうち巻第一

装飾経の魅力

国宝 一字蓮台法華経 九巻のうち巻第三 福島・龍興寺

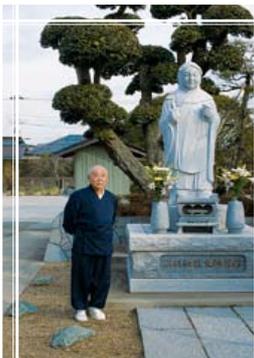


まったことに起因しております。さらに、末法思想や浄土思想ともかわり、人々は末法の危機感と恐怖から、現世の極楽を願ひ、後世の成仏を頼んで、阿彌陀堂が次々に建立されました。

興寺感、「紺紙銀字法華経」「紺紙金銀交書法華経」(以上延暦寺蔵)などに見られる紫や紺の料紙、金字や銀字は、いずれも経典を荘厳する意図によるもので、極楽浄土が瑠璃地で覆われており、七宝で荘嚴されていたと説かれることに基づいています。

会期 3月28日(火)〜5月7日(日) 会場 東京国立博物館 平成館 (東京・上野)

お問い合わせ(ハロダイヤル) 03-5777-8600



寺院探訪

北総教区 徳星寺
落合高省住職
千葉県香取郡山田町小見

徳星寺は、千葉県香取郡の小見にある。「小見は、麻積と書いたんです。長野県にも麻積という村がありますが、昔はきつと麻が採れたんでしょうね」というのは落合高省住職。同寺は、今年五月に行われる北総教区檀信徒総授戒の会場である。すでに戒弟の目標数は達成されている。落合住職は「ちよんまげ時代からの檀家寺ですが、住職が仏さまを力サにきて、檀家にものをいうのは御法度。檀家さんとざつくばらんに語り合える関係こそ寺院護持の基本」という。天台宗檀信徒会会長をつとめる藤崎敷さんは、同寺の落合住職の趣味は「寺院整

備」という。いわゆる清掃管理で、収入の多くを整備にあてる。そのかいあって境内は塵一つ無く、清潔そのもの

私設学寮 妙法院南叡学寮生募集



京都三十三間堂の本坊、妙法院が開設する宗門の法嗣養成機関で、僧侶として必須の法儀・作務を習得しながら市内大学に通学するものです。

1. 募集人数 若干名
2. 資格
 - 天台宗法嗣として得度している者
 - 市内大学(学部不問)及び叡山学院に在籍する者(来春4月入学予定者含む)
 - 年齢不問
 - 月例の講義(宗学・法儀)
 - 個室・食事供与
 - 通学、研究費補助
 - 学費(一般)の一部補助
 - 平成17年12月10日～18年3月末日
3. 処遇特典
4. 募集期間

まず、下記までご連絡下さい。
京都市東山区七条上ル 妙法院門跡・本坊
電話：075 (561) 1744



だ。一隅を照らす運動三十周年を記念して建立された伝教大師像が、訪れる檀家の人々を優しく見守っている。

背骨が曲がった日本



コンパス
天台宗顧問
杉谷義純

「たとえ、金貨の雨が降ったとしても、人間の欲望は満たされることがない。快樂の味は短くかつ苦痛である」と賢者は知っている。ダンマパダで釈尊はこう喝破されている。だからホリエモンとその仲間が錬金術に、あらゆる手段を使い、法を犯してまで突っ走ったことに驚かない。それこそ想定内だ。また彼が日本で一番優格だとして賞讃されている大学に合格しても、けして賢者でなかったことも明らかになった。しかし、この事件はただそれだけのことで済まされないところに、現代日本の病理がある。土地バブルが弾けて、不景気のどん底に突き落とされた。守旧の本丸と思われることを嫌い、時代に即応できず見せたかったのだから倫理や道徳、それに品格などついつい後廻しになつてしまふのだ。かくして不祥事を予防すべき立場の監査法人や顧問弁護士までが、不正を隠蔽する側に平気でまわつたりするのである。阪神大震災の悪夢から十一年、中越地震の記憶も新しい中で、耐震偽装建築が堂々と認可されて、次々と建てられていた事実には、身震いすらする。孔子の言葉に「上、義を好めば、民、敢えて服せざることをなし」とある。法整備は勿論であるが、民主主義であるからこそ、余計に上に立つ人の見識や徳が不可欠なのではないか。日本の背骨が曲がってきた。

た。計算可能なことで占められてしまったのであろう。かも知れない。だがこれらの事実は衝撃的であらう。日本の政治と経済をそれぞれ代表する二人が、揃って人物評価を誤つたからだ。さらに社会の木鐸を任じているマスコミに至つては、勝手に持ち上げておいて大騒ぎし、悪者とわかれば掌を返したように叩き、また大騒ぎするだけだから、この際問題の外だ。それより日本の国の能取りをしている人達の価値判断の尺度が、狂っている方が大問題なのである。普段は「米百俵」などと言っている間に、いつの間にか頭の中が、効率や勝ち負けの問題なのである。

一隅を照らす運動総本部理事会を開催
去る一月二十三日、天台宗務庁において、一隅を照らす運動総本部の理事会が開催され、平成十八年度の同本部予算、事業計画等を審議し、いずれも原案通り承認した。同本部では、平成十七年度から会報として「きらめき」を発行しているが、来年度から、現行のタブロイド版から小冊子形式に改め、内容の刷新を図ることになった。年四回、七万部を印刷。宗内寺院等に無料配布する。

祝新任職任命

【延暦寺一山乗院】真嶋全康師
【東京・妙見寺】宮崎光永師

天台トピックス

- 【埼玉・立岩寺】宮崎公宏師
- 【南総・福圓寺】川邊堯圓師
- 【栃木・感應寺】本橋孝悠師
- 【神奈川・西福寺】相馬観順師
- 【栃木・廣泉寺】二見亮覚師
- 【山形・月藏院】庭崎賢恵師
- 【安楽律法流・東福寺】草玄聖師
- (平成17年12月1日～平成18年1月24日 法人部調)

示寂

鈴木 昭然師
平成17年12月14日遷化

デスクから

一月二十六日午前十一時から、開宗千二百年祥当法要が比叡山延暦寺で厳修された。底冷えの厳しい、小雪の舞い散る日であった。千二百

年前、天台宗が勅許で認められたのも、このように寒い日であったのだらうかと思つて、カメラを構えつつ、ホカロンを懐に入れていたことを、宗祖大師に申し訳なく思う(写真は、根本中堂に入堂する座主現下と天台宗、延暦寺両内局) ●連日のホリエモン報道で、何千億円が泡と消えたという解説に、ただ口ポカンである。かつて有名な仏師から「カネは刃物やで。持ちつけない者が持つと身を切る」と言われたことを思い出す。我が身を振り返れば身を切る心配など全然ないのがや淋しいが、その分枕を高くして寝ているのは、幸せと納得する。

- 三枝教区長命寺住職
- 12月18日日本葬儀執行
-
- 堀入 亮善師
- 平成17年12月28日遷化
- 埼玉教区喜多院名譽住職
- 2月10日日本葬儀執行予定
-
- 清水 徹心師
- 平成17年12月29日遷化
- 常楽院法流本城寺住職
- 12月30日日本葬儀執行
-
- 細野 舜章師
- 平成18年1月10日遷化
- 南総教区観明寺名譽住職
- 2月27日日本葬儀執行予定

冬晴れの中 落慶式挙行

開宗千二百年に併せ護摩堂新築

東寺 九仙 州仙 霊

九州東教区の霊仙寺(青山 良安住職)ではこのほど、境

内地にある護摩堂を新築した (写真)。



昨年十二月十七日に部内寺院住職有志出仕のもと、落慶法要を執り行った。同寺の護摩堂は大正五年の建立であり、近年、老朽化が著しくなっていた。折しも開宗

千二百年という勝縁を迎えていることもあり、建て替えを決議。その慶讃事業の一環として、檀信徒の篤志のもと、昨年十二月に新護摩堂を竣工させた。約九十年振りの建立ということで、同日の落慶法要は、華やかな稚児行列も行われるなど、盛大裡に執行された。なお、同寺のご本尊は千手観音(秘佛)で、毎年二月八日に御開帳護摩供法要が厳修されている。

(報告) 藤園俊道通信員

今年の夏世界大会開催

36年振りに設立の地・京都で

世界宗教者平和会議

世界宗教者平和会議(WCRP)の第八回世界大会が、今年八月に京都の国立京都国際会議場において開催されることになった。

WCRPは、世界の宗教者が互いに協力し合い、平和のために尽くすことを目的に一九七〇年、京都で設立された。本部はニューヨークにあり、仏教、キリスト教をはじめとする世界の主立った宗教が加盟しており、三十数カ国に及ぶ各国委員会を持つ世界最大規模の宗教協力団体。

三十六年ぶりに設立の地京都において世界大会が開かれるわけだが、二〇〇一年の米



写真 Ⅱ 第8回大会(ローマ)の様子 (WCRP日本委員会提供)

同時多発テロ以降では初の世界大会となる。中東の紛争を始め、世界各地の争いが宗教色の濃い対立となってきた。今日、宗教者が平和へ向け

イタリア・国際ニーノ賞 瀬戸内寂聴師が受賞

「最も先鋭的な感覚の仏教者」として評価

天台宗僧侶である作家の瀬戸内寂聴師にこのほど、イタリアの「国際ニーノ賞」が贈られることがきまった。同賞は国際的に活躍する文化人に贈られるもので、これまでにノーベル文学賞作家V・S・ナイポール氏や高名な文化人類学者・レビストロース氏等が受賞している。受賞理由に「最も先鋭的な仏教者の一人」であり、「寂聴」の名のとおり、作品の中で「静教を



国際ニーノ賞を受賞する瀬戸内寂聴師 (写真=昨年・新作狂言発表の記者会見で)

聴くことを成し遂げた」ことが挙げられている。イタリアでは、瀬戸内師の作品の中で「女徳」と「比叡」が翻訳出版されている。瀬戸内師は、昨年秋に奉修された開宗千二百年慶讃大法要の開闢に際し、新作狂言「居眠り大黒」の脚本を担当し、好評を博した。最近では、オペラの脚本を手がけており、今後の更なる活躍が期待されている。

濱中新内局 部長の横顔

1

小林総務部長



二十八歳で、僧侶になった。実生活で挫折を味わい「自分を違う環境に置いて、考え

直したい」と思った時に比叡山と出会った。師匠は「行の鬼」といわれた小林栄茂師である。千日回峰行を達成した大行満大阿闍梨の元での生活は「厳しかったが、普通のことを普通にしていれば恐くはなかった」。延暦寺一山止観院住職だが、比叡山に入った時は住職になれるとは思っていなかった。「行者に憧れないことはなかったが、縁に従って今日まで

王生法人部長

慣例では、新旧の橋渡し役として旧内局から一人が新局に残る。誰もが、この人だと思っていた。途中入局で二年しか務めていないというばかりではない。温厚篤実ながらも職員からも人望が高いからだ。「でも、今回は選挙になりましたから」と固辞の姿勢が強かった。しかし、度重なる就任要請に「お役に立つ

のなら」と法人部長就任を承諾した。前の一隅を照らす運動総本部長からは百八十度転換である。「個々の寺院問題に包括法人がどれだけ踏み込めるのか、ミスが許されない職責だけに毎日勉強です。自然、特に植物を愛する。信州の自坊では、色々と栽培を楽しむが、大津市坂本の役宅では「通勤途中の草木を眺めるだけで、何もしてしま



来た」。比叡山でも清原内局で総務課長、森定内局で総務部長を務めた。今回も内局の要である天台宗の総務部長。「職種上、威勢のいいことばかりは言えない。危機管理も仕事なので、なるべくプライベートな用事は入れないようになっている」。娑婆で挫折感を味わったのに、人事に携わる気の重い仕事である総務畑を歩むのは皮肉だが「上からモノを言うより、下からサポートしたい。調和をはかり組織が前向きになれば、達成感が味わえると思う」。

山本財務部長

岡山教区宗務所長からの就任。岡山といえ、瀬戸内海の温暖な気候を想像するが、自坊の高福寺は標高三百八十メートルにあって比較的雨が少なく、那岐山からは「広戸風」という暴風が吹く。昨年十二月下旬に降った雪が今も根雪となつて残っているのである。倉敷生まれで、小学校三年から二十九歳まで名利・明王院(現・吉山亮公住職)で徒弟生活した。「亮公師が子どもだった頃、手を引いて幼稚園に連れて行った」。兄弟同然の吉山師は今も宗議会で活躍する。部長就任を要請に来たのは、その吉山師らだった。「青天の霹靂というか広戸風が吹いたようでした。三時間を越える話し合いで、悩みに悩んだが、二十七歳の副住職が「親父、寺は自分が護るから本庁へ行っていいよ」という言葉が背中を押した。濱中総長のマニフェストにもあるように、宗徒に負担をかけない財政を心がけたい。境内整備のかたわら「山菜を採るのも楽しみ」という。



私の法句経 (ほろくきょう)

天台宗 宗機顧問 藤 光 賢

(3)

犯したる悪しき業は
新たに搾られし
牛乳のごとく
ただちに凝まることなし
されどその業は
灰に覆われたる
火のごとく
燻りつつ
かの人を逐いゆく
法句経 七一

第五章 「闇愚」

「悪事千里を走る」といいます。
しかし、千里を走るの、悪事が発覚してからで、悪い

ことというのはなかなか表に出にくいものです。それは、新しく搾られた牛乳がすぐに固まらないのと同じ事です。

けれども、悪行がなかなか発覚しないからといって、消えて無くなってしまったわけではありません。必ず、表に出ています。

悪行が、すぐにバレるのなら、まだやり直しようもあるでしょう。発覚しない時間が長ければ長いほど、悪行の上に、更に悪行が積み重なって手遅れになっていることが多いのです。これが恐い。

発覚したときは、身の破滅というのを、私たちは汚職や破廉恥罪を犯す人の例で、嫌になるほど見てきています。つい最近では「カネで買えないものはない」と豪語し、我々の日常生活では想像も出ない何千億円というマネーゲームに踊り、暗転した経営

欲少なくして 足るを知る

者の例をひとつ挙げておきます。

仏教では人間の心を蝕むものも根本的な三つの煩惱を毒に喩えて三毒と呼びます。すなわち、貪欲(むさぼり)・瞋恚(いかり)・愚癡(おろかさ)の三つです。「貪瞋癡」ともいいます。

私たちは無限の過去世から、この三つの煩惱をもっているとされています。これが原因となり、私たちは自らの身に様々な悪業を呼び込んでしまうのです。

これらの三毒は、まさに埋み火のように、心の中でぶすぶすと燻り続けて、やがては自分自身を滅ぼす原因となるのです。

毎日、暗いニュースばかりです。青少年の凶悪犯罪や、悲惨な事故、名門といわれた人々の骨肉の争い、政治不信、あるいは戦争にいたるまで、すべては人間の持っているこの三毒が作用していま

す。先に挙げたマネーゲーム経営者は、貪の最たるものです。私たちはそのことを自覚して、欲の少ない少欲知足心がけるべきでしょう。

また、天台宗では、折にふれて「悔過」の法要を行います。これは、私たちが罪障を積み重ねることによって生じる禍を、み仏に懺悔して幸福を呼び込もうという法要です。その時には必ず「今までのあやまち、過去からの貪瞋癡によって、体や言葉や思いを通して犯したものです。今、これらのあやまちを、全て残らず告白し許しを請います」という懺悔文を唱えま

す。このようにして日々心を浄め、身を正して生きることが仏の教えであり、天台宗の教えであります。

雪が溶けて 川となって

中尊寺貫首 千田孝信

(11)

中学に入学してまもないころでした。まさかうちの娘が不登校になるなんて、考えてもいませんでした。そして外出もしなくなり、人に会うのも嫌がり、誰も受けつけない昼夜逆転の日々が続いたのです。私たちは、どのように対処していいのか迷うばかりで、不安と焦りが募り、心も身体もボロボロのような毎日でした。あんなに明るく活発に、いろんなことに意欲的に取り組んできた娘が、一変してしまふなんて……。まるで何

あなたの親でよかった！

ある父母の手記

かに取りつかれてしまつて、心まで奪われてしまったのではないかと考えるようでした。教育相談を受けたり、児童心理士の教授にお会いしたり、なんとか以前の元気な娘に戻ってほしいと私たちは必死でした。当時の娘は、私たち以上のやり場のない

苦しみに立ち向かい、もがき苦しんでいたのだと、つくづく思いま

つていたのです。そんなある日、以前娘が取り置きしていたのでしょうか、一本のビデオテープを見ていたのです。それが北星余市高校でした。「私の学校なら行けるかもしれない」。娘の口からポツリとこんな言葉が出たのです。暗く長かったトンネルの向こうに、ポツカリと光が見えたような思いでした。

そして一月の寒い北海道に、学校見学に行ったのです。あたり一面凍りつくような雪のなか、冬の海はねずみ色の波が暗く重く見えました。こんな見知らぬ遠い北の地で、本当にやってゆけるのだろうか不安でした。それ以上に娘の不安は、計りしれないものだったに違いありません。

(続く)

素晴らしい言葉たち (Wonderful Words)

怨を以て怨に報ぜば 怨止まず、徳を以て怨に報ぜば 怨即ち尽く。(伝教大師・伝述一心戒文)

第二次世界大戦中に、ナチスのユダヤ人収容所で、自ら他の囚人の身代わりになると申し出て飢餓刑に服し、亡くなったポーランド人神父がいいます。そのマクシミリアン・コルベ神父の名前はカトリック界では知らないものがないといわれるほど有名な

コルベ神父は「憎しみからは何も生れない。愛だけが創造する」という言葉を残しました。伝教大師の言葉と、コルベ神父の言葉を比べてみてください。千二百年前に伝教大師が述べられた言葉と、六十年前にカトリック神父が残したものは、ほとんど同じだといつていいと

思います。かといって、時代背景を考えれば、当時コルベ神父が伝教大師の教えを知っていたとは思えません。偉大な宗教者には、時代や国や宗派を超えて共通するものがあります。それは「真理」です。残念ながら、今、世界ではテロの嵐が吹き荒れ、民族紛争では、数十万人、数百万人が虐殺されたという報道がなされています。彼等の心の奥底に潜むものは憎しみです。人間は、心の持ちようによって鬼(悪魔)にもなれば、仏(神)にもなれます。その境界を分けるものを千二百年前に伝教大師はお示しなっています。

あなたのの中の 仏に会いに



平成十八年、今年天台宗は開宗十二百年祥当の年を迎えました

〒520-0113 滋賀県大津市坂本4-6-2 天台宗務庁
天台宗開宗1200年慶讃大法会事務局
TEL 077-579-0022 FAX 077-578-4814
または、最寄りの天台宗寺院へ